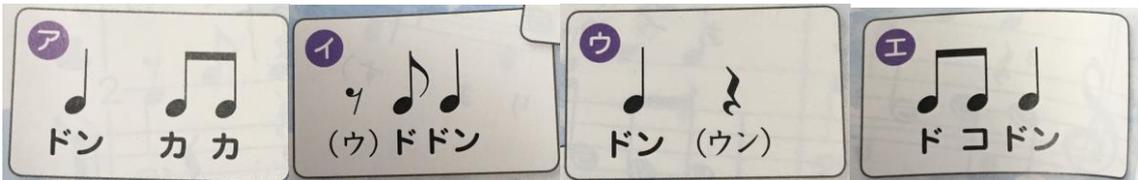
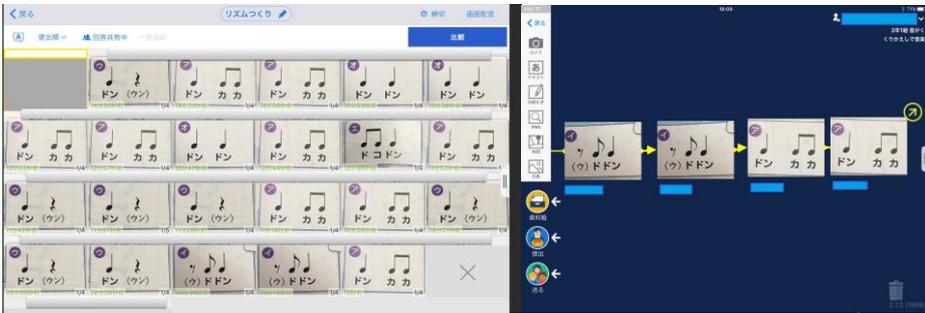


小学校プログラミング教育の実施レポート

学習活動名	「このみのリズムパターンを作ってみよう！」
学年	第2学年 音楽
目標	○リズム譜を見て思いに合った表現をする技能を身につける。 ○自分の作ったリズムを表現するためには、どのような順序と組み合わせが必要か理解できる。
教材タイプ	アンプラグド（ロイロ）＋ビジュアル言語（Pyonkee）
使用教材	ロイロノートスクール及び Pyonkee
環境	児童 25 名で 25 台の iPad 端末を使用
都道府県	大分県
実施校	臼杵市立福良ヶ丘小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>【学習活動の概要について】ア～エのリズムをまず練習する。次にア～エをカードにしてロイロノートスクールで児童に配布し、児童は届いたカードの順番を入れかえたりコピーしたりして自分好みのリズムを作って提出箱に提出し、一人ずつ発表して全員で共有する。その後ピョンキーを用いて、自分が作ったリズムを自動演奏させるプログラムを作成する。</p> <p>【活動の様子】</p>  <p>まず児童はリズム4種類を並べ替えたりコピーしたりして、2小節のリズムパターンを作成した。</p>  <p>その後、提出箱で共有し、一人ずつ発表してそれぞれの作品を鑑賞した。</p> 
成果と課題	基本のリズムパターン4種類を手拍子で表現した後、それぞれの好みのリズムパターンを全員で共有できた。ピョンキーの使い方は別の授業でマスターしていたので、プログラミングにスムーズに移行できた。繰り返しをうまく使えた児童が周囲のサポートに回ったり、自分が作ったリズムをさらに改良したりして、トライアル&エラーを楽しむ姿が多くみられた。